



TECH with HEART

変わりゆく時代の、中心でありたい。

その強い思いと共に、50年ほど前、フォーカスシステムズのITへの挑戦は始まった。

当時、できることはまだまだ少なく、試行錯誤し、

ただ目の前のことを投げ出さず、必死に技術を磨くことで、少しずつ前に進んできた。

最初は気持ちだけで、突き動かされていたのかもしれない。

「決してあきらめない。」

誰にでも言える、誰もが耳にしたことがある、でも実現は簡単ではないこと。

変わらず、今でも続けていることだ。

この信念を胸に、常に一歩先を見据え、目まぐるしく変わる社会に、対応し続けてきた。

そうやって私たちが携わってきたITシステムは、今では、多くの人が触れるような存在となった。

難題が生じた時は、長年積み重ねたノウハウと、知識、そして、

それらを活かす個性豊かな仲間が化学反応を起こし、新たに導き出した答えと共に乗り越える。

そうして枠を越えることで、常にこれまでの常識にとらわれない、ニューノーマルであることができる。

しかし私たちは無謀なチャレンジはしない。それはすべての人々と共にいる自覚があるから。

ただし、チャレンジはやめない。まだまだ私たちには進化が必要だから。

そうやって「少しずつ積み重ねる」という最高速度で、これからも動き続けることができるのだ。

変わらない旗を持ち続けてきたことで、一人、またひとりと仲間は集まってきた。

家族、友人、仲間、自分自身を含めた、あらゆる人々に焦点を当てる。

みんなが安心できる、なくてはならないITサービスを提供し続ける。

まっすぐ、ブレない。

私たちは大切なコトにフォーカスし続ける会社です。

いつも、
そこに、
フォーカス。

TOP MESSAGE

社長メッセージ

テクノロジーに、ハートを込めて。

未来の地図が描きにくい時代だからこそ、
心躍る挑戦を続け、可能性を広げていきます。

大切なのは、
「心」を通わせて仕事をする事

フォーカスシステムズは、お客さまや社会のことを考えながら、ITの知識や技術を磨き、期待に応え続けています。設立から約半世紀、時代が進む中で、さまざまなニーズの変化がありました。独立系SIerである当社が、変化する多様なニーズに対応し続けることができているのは、「心」という価値観を大きな指標としているから。当社は社員一人ひとりが、優れた技術や知識を持ちながら、心を通い合わせて仕事をしています。その結果、公共から民間の幅広い業種業態のお客さまから強い信頼を得ることができ、長く続く関係を構築。仕事を通して、社会の発展に貢献しています。

先が読みにくい時代だからこそ、
ハートを込めた
ワクワクする「挑戦」を

「テクノロジーに、ハートを込めて。」という当社のコーポレートスローガン。先が読みにくく、柔軟性を必要とする現代において、ここに込められた思いはより大切になってくると考えています。いつもこのスローガンを胸に社会のことを考え、ミッションを達成してくれる当社の社員たちは、大切な財産。これからも社員やステークホルダーが楽しみながら果敢なチャレンジができるよう、より充実したサポートをしていく方針です。私たち自身がワクワク感を持って挑戦し、世界の発展に貢献していく。この良い循環を続けていけるよう、一丸となってサービスを提供してまいります。

代表取締役社長

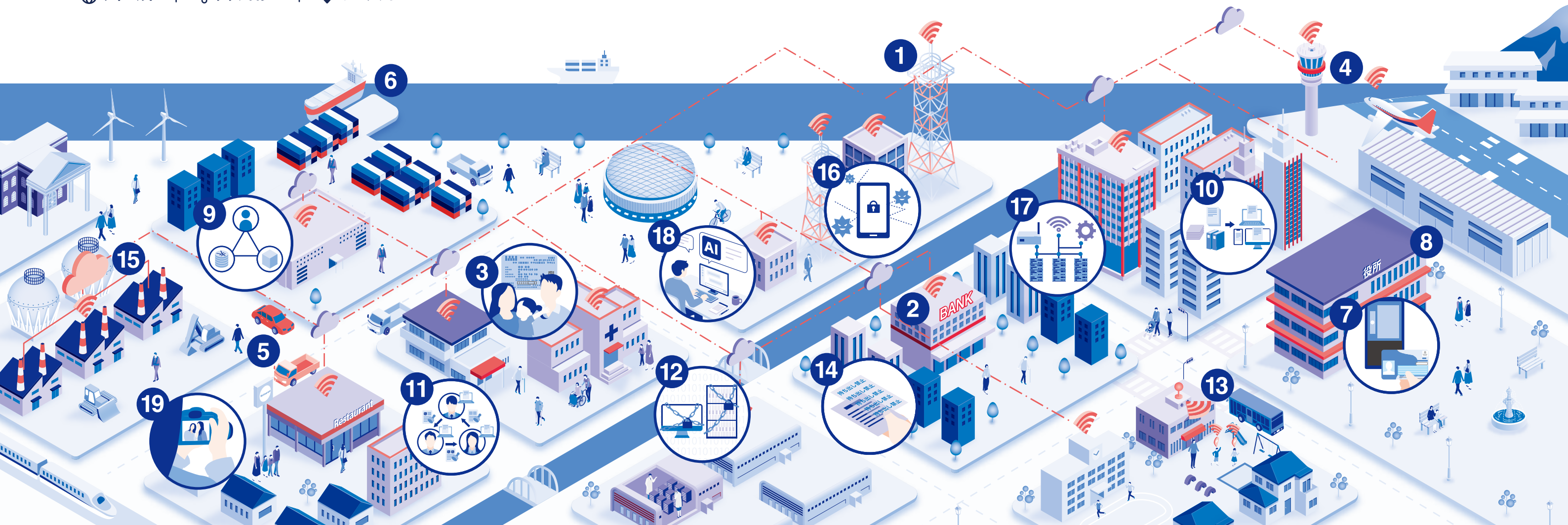
森 啓一 Mori Keiichi

社会と暮らしを支える フォーカスシステムズ

ITとそれを利用するあらゆる人々に焦点を当て、私たちはサービスを提供しています。
社会の暮らしを、ITの力でサポートする。その役割を当社は担っています。

フィールド | テクノロジー | プロダクト

- 1 通信**
いつ誰とでも、安定して速く繋ぐための、通信制御装置のファームウェア開発に貢献。
- 2 金融**
メガバンクや証券、クレジット会社の経営・顧客情報一元化や経営戦略のDX施策などを支える。
- 3 社会保障**
国民を支えるセーフティネットである年金や医療・雇用・労災保険等の手続きシステムに参加。
- 4 航空**
航空路管制業務や、交通流制御による航空機運用を支え、安全で円滑な運航に寄与。
- 5 自動車・交通**
車検制度を支えると共に、地図・道路交通情報を提供するシステム開発を支援。
- 6 貿易・運輸**
輸出入に係る手続きを一元処理し、国際競争力の強化ならびに国内物流をサポート。
- 7 電子行政**
キャッシュレス納税やオンラインでの税申告、マイナンバーカード活用システムなどのサービスを支援。
- 8 地方自治体**
自治体内DX、母子保健や介護保険など、住民の生活に直結したシステム提供に貢献。
- 9 基幹システム**
限られた経営資源を有効活用しながら、経営判断を迅速化するためのシステム基盤を構築。
- 10 電子化・効率化**
多岐にわたる製品の知識や経験を活用し、お客さま環境に合わせた業務改善・効率化を実現。



- 11 ワークフロー/電子契約**
各種申請等を電子化することで、企業間取引の手続き業務を効率化。
- 12 暗号**
先進的な製品や技術を駆使したトータルセキュリティを展開し、情報資産を守る。
- 13 ビーコン/指向性受信機**
位置測位ソリューションで、入退出管理や在庫管理、園児の見守りなど幅広い課題を解決。
- 14 電子透かし**
デジタルコンテンツに透かし情報を埋め込むことで、不正利用を抑止し著作権を保護。
- 15 クラウド・仮想化**
最適なお客さま環境を提案し、クラウド環境への転換・新設の成功を実現。
- 16 セキュリティ**
外部からの攻撃や内部の不正利用などに対して、安心できる環境を構築。
- 17 ITインフラ**
堅牢・柔軟・迅速を兼ね備えたシステムの土台を設計・構築し、システムの安定稼働を支援。
- 18 AI**
AI技術を活用した自社製品開発やお客さまの業務課題を解決するソリューションを提供。
- 19 組込み**
自動車やデジタルカメラ、医療端末などの制御システムを、通信機器の制御開発で培った技術力で支援。

HISTORY

フォーカスシステムズの歩み

変わりゆく時代の焦点になろう。

その想いのもと「フォーカスシステムズ」は、社会にITで価値を提供してきました。

1977~1995

開拓期

コンピューターを
知らなくたって、
この業界は面白い。

ハードウェアメーカーがソフトウェア市場も席巻していた1970年代。私たちは独立系SIerとして、ソフトウェア開発1本で出発しました。コンピューターを知らずとも、柔軟な発想力を持つ社員たちが協力して、次々と「お客さまの実現したい」を形にした時代。BtoBのビジネスで頼れるSIerとしての地位獲得に奔走した時代です。

1996~2010

変革期

挑戦に、臆さない。

1996年に店頭公開を果たします。世界中が不況に陥り、財政面も不安定になる中、私たちは当時まだ世の中でマーケットとして認識されていない「ITサービス」に勝機を確信。積極的に人材を投入し、事業の柱としました。さらに、次世代を見越したさまざまな経営構造改革も推進していき、どんな時代でも社会的責任を果たす実力を備えていきました。

2011~2015

拡大期I

過去に、固執しない。

東証一部上場を旗印に新経営陣による挑戦が始まり、次のステージを目指し変化を遂げた5年間。過去にとらわれず、“自社製品開発”や“共同研究への戦略的投資”をスタートさせました。また、安定と成長が両立する強い組織を目指し、内部統制や福利厚生制度・ヒューマンスキル研修等の充実にも注力。従業員数は1,000名を超え、東証二部への市場変更もしました。

2016~

拡大期II

期待を、裏切らない。

2016年、東証一部銘柄への指定を果たす。そして、2022年にはプライム市場へ移行し、さらなる発展を実現するためのプランも策定しています。幅広い業務の遂行やミッション達成を支えているのは、私たちが持つ「誠実に仕事をやり遂げるDNA」。このDNAを大切に、これから始まる新たな挑戦期への準備を現在進めています。

356億

1,500名突破

1,000名突破

500名突破

300名突破

1977

1996

2015

2016

2022

日本証券業協会
株式店頭公開

東京証券取引所
市場第二部

東京証券取引所
市場第一部

東京証券取引所
プライム市場

PHILOSOPHY

経営理念

社員すべてが心と力を合わせ、
企業の発展と成長を通じて、
未来のより良い環境作りに貢献する。

私たちは、
これら3つの責任を果たしていきます。

個人責任

人間性と技術力を磨き、
最高のサービスをお客さまに提供します。

企業責任

社員相互が信頼し合い、
安心かつ働きがいのある会社を作ります。

社会責任

お客さま、投資家、株主から信頼され、
社会から必要とされる会社を作ります。

築いてきた魅力と
新たな価値観をかけ合わせ、
世の中に新しい「なくてはならないもの」を

私たちはいつも、お客さまの課題とまっすぐ向き合い、解決策を提供しながら、重厚な技術と
ノウハウ、そして信頼を積み重ねてきました。その結果として生まれたものは、安定した財政
基盤とチャレンジをサポートする環境。これからは私たちが築いてきたこの魅力と、新しい価
値観をかけ合わせ、時代に寄り添う「なくてはならないもの」を提供し続けていきます。

個性豊かな仲間と
化学反応を起こす

ロボット

遠隔メンタリングシステム

高度先端情報技術

ナノテクノロジー

ライフスタイル

Health Tech

視線計測

スポーツ行動

再生医療

MaaS

水資源

新たに導き出した答えと共に乗り越える

グリーンイノベーション

カーボンニュートラル

宇宙分野への挑戦

スマートシティ

災害対策

ITで想像を叶えていく

時代が進むと世の中に生まれる新たなニーズ。私たちはその想いに応えるサービスを提供し続けてきました。
これを実現できているのは「あらゆるものごとと、ITを組み合わせたらどうなるのだろう?」と、いつも考えているから。
これからも蓄積された技術・ノウハウを活かし、未来に広がる無限の可能性を実現していきます。

AI

スマートグリッド

6G

フードロス

EdTech

持続可能なエネルギーシステム

これまでの常識にとらわれない

行政・自治

未来にわたって新しいものを生み出し続ける

フェムテック

地球環境へのアプローチ

アニマルウェルフェア

メタバース

人と人を技術でつなぐ

Web4.0

デジタルツイン

オーバーツーリズム

バイオテクノロジー

COMPANY

会社概要

会社名	株式会社フォーカスシステムズ (Focus Systems Corporation)
上場市場	東京証券取引所プライム市場 (4662)
本社	〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目7番8号 フォーカス五反田ビル
設立	1977年4月1日
資本金	29億円 (2026年3月末現在)
従業員数	1,525名 (2026年4月1日現在)
事業内容	コンピュータシステムのコンサルティング・受託開発 システムの保守・運用管理、技術支援 情報セキュリティ関連技術・商品の開発・販売 ソフトウェアパッケージの開発・販売 Webコンテンツの企画・制作など 労働者派遣事業 医療機器の開発・販売 その他、各種コンピュータ関連事業

役員構成	代表取締役社長 代表取締役副社長 専務取締役 常務取締役 取締役 社外取締役 常勤監査役 社外監査役	森 啓一 三浦 宏介 室井 誠 後藤 亮 鈴木 隆博・津嶋 隆博・水野 弥 瀬尾 勘太・荒谷 真由美・秋山 エリカ・山尾 百合子 吉野 充・高橋 功 松原 陽子・萩原 きよみ
------	---	--

取得認証



プラチナくるみん
次世代育成支援

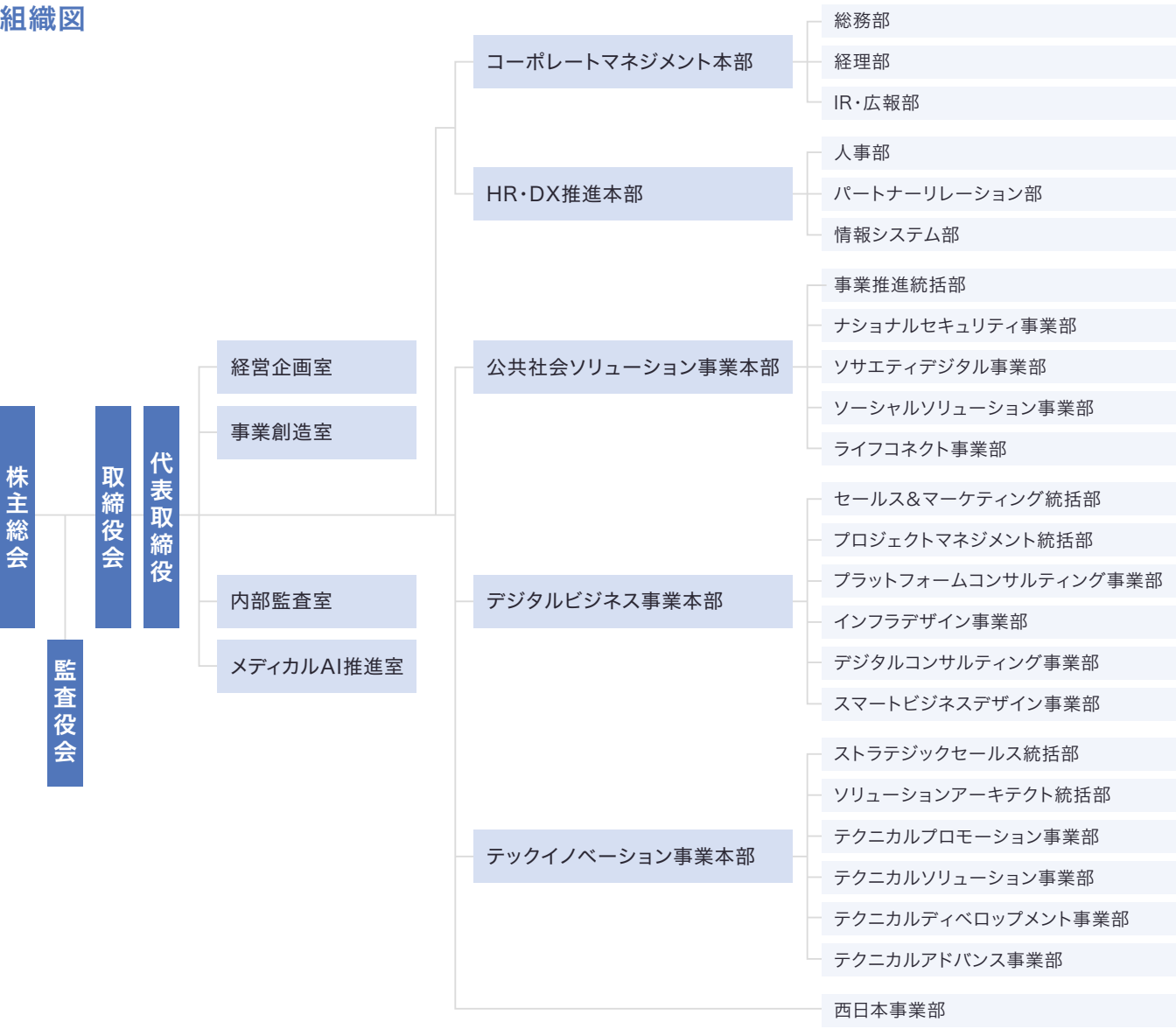


えるぼし
女性活躍推進



健康経営優良法人
2026
(大規模法人部門)

組織図



所在地

本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目7番8号 フォーカス五反田ビル	セミナールーム 〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目3番1号 損保ジャパン日本興亜五反田共同ビル4階
【本社分室】 公共社会ソリューション事業本部 〒141-0031 東京都品川区西五反田1丁目30番2号 ウィン五反田ビル9階	デジタルビジネス事業本部 〒141-0001 東京都品川区北品川5丁目1番18号 住友不動産大崎ツインビル東館19階
テックイノベーション事業本部 〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目24番10号 テラサキ第3ビル4階	
【大阪支社】 西日本事業部 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町4丁目5番20号 本町矢野ビル8階	【名古屋オフィス】 西日本事業部 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1丁目9番11号 丸の内伏見通ビル5階

コーポレートサイトはこちら

